

広島市植物公園

見どころ案内

オジギソウ (マメ科)

葉が接触、熱、風、振動などによって先端から徐々に閉じて行き、夜も葉を閉じ眠っているよう見えることからネムリグサとも呼ばれています。

水琴窟と苔庭

茶室前の水琴窟と13種類の苔を展示しています。

パイナップルの実

(パイナップル科)
熱帯アメリカ原産のパイナップルが実をつけています。

ナリウツギと夏の植物展

花の少ないこの季節に咲くアジサイの仲間を展示。ほかに見ごろの夏咲きの植物を展示します。屋外展示場にて開催中。

世界の食虫植物展

栄養の少ない土地で生きていくため、虫を捕らえる進化を遂げた食虫植物の仲間を展示しています。

8/20(日)まで

大温室改修のため休館中

リニューアルオープンは平成29年秋ごろです。(予定)

キバナコスモス

(キク科)
メキシコ原産で標高1600m以下の地域に自生しています。満開のキバナコスモスに囲まれて迷路の楽しさを体感できます。

キキョウとオミナエシ

どちらも秋の七草として知られていますが、実際の開花期は盛夏です。淡い紫と黄色の取り合わせが美しい。

熱帯スイレン

(スイレン科)
温帯スイレンには無い青や紫色があり、エキゾチックな雰囲気を出しています。鉢で展示中です。

アサガオのカーテン

(ヒルガオ科)
ツルが最上部まで到達して、ブルーの花が涼しげです。アサガオの1品種「オーシャンブルー」です。

熱帯の花

フィリピン原産のキバナヨウラク、東南アジア原産のマツリカ、ブラジル原産のヒメアリアケカズラなど、南国の鮮やかな花を多数展示しています。

巨大ハンキングバスケット

白いカラジウムを基調にして、ペンタス、オカメツタを組み合わせ、夏バージョンに仕上げました。

日本ハンキングバスケット協会
ハンキングバスケットマスター作

冬虫夏草展

中国で古く「冬は虫として動き回り、やがて夏になれば草(キノコ)に変わる不思議な生き物」と思われていた、昆虫やクモなどに寄生するキノコの仲間の標本や写真を展示しています。

8/17(木)まで

